

今日の晴れの日を待ち望んでいた鴨川べりの桜の樹々が、春を連れてきたことを誇るかのように満開の花びらを揺らしています。

この春爛漫の佳き日に、さいたま市教育委員会教育長 稲葉康久様、本校PTA会長 大塚成人様はじめ、御来賓の皆様の御臨席を賜り、また保護者の皆様の御出席をいただき、平成二十九年度の入学式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであり、深く感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました二百四十三名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本校は昭和三十七年に創立され、この春で五十六年目を迎えました。「和敬信愛」を校訓とし、「目指す学校像」として「確かな学力と豊かな人間性を育て、グローバル化社会に適応できる生徒を育成する」ことを掲げながら、生徒一人ひとりを大切にすることを実践しています。一方で、ご存知のとおり、二年後の平成三十一年四月には、県内で初めてとなる中等教育学校が開校いたします。

中等教育学校とは、中学校に当たる前期課程と高等学校に当たる後期課程とを合わせて六年制とした、完全なる中高一貫教育校です。高校段階での入学はなく、全員が中学段階から入学します。そのため、大宮西高校生としては皆さんが最後の入学生であり、来年、新入生は入学して来ません。そして再来年には、小学校を卒業したばかりの中等教育学校一期生が入学して来ます。

本校がそのような大きな過渡期にあるにも関わらず、皆さんは大宮西高校で学びたい、大宮西高校で大切な高校生活を送りたい、そう考えて本校への入学を果たしてくれたものと思います。

そうした皆さんの期待に応えるため、本校では二年前から二つの取組を進めています。

一つは、三十人学級編制です。授業などの関係で三十二人の学級もありますが、これは一学年のみの取組ではなく、三年間を通じて実施します。科目によっては二十人授業であったり、さらに少ない人数での授業であったりと、密度の濃い学習が期待できます。

もう一つは、公費による補助を受けた海外研修です。本校は、グローバル化先進校としての取組を進める中で、夏休み中の海外研修では、オーストラリアとニュージーランドの二方面に、今年も合わせて四十名の生徒を派遣し、その渡航費等の一部として、さいたま市から一人十萬円の補助をいたします。

もちろん、こうした他校にはない取組を進めていても、なお大宮西高校が中等教育学校に移行していくにあたって、色々と不安や懸念を抱くことがあるかも知れません。間もなく始まる施設整備工事によって、皆さんに不自由な思いをさせてしまうことにもなります。

だからこそ、大宮西高校を選んでくださった皆さんの高校生活への期待に、私たち教職員一同は一丸となって応えます。皆さんの夢、希望、目標の創造と実現に向けて、できる限りの支援をいたします。

しかし、頑張るのは皆さん自身です。皆さんの夢であり、皆さんの希望であり、皆さんの目標です。努力して叶えるのは、ほかの誰でもない皆さん自身です。今日から三年間、自分の夢を探し、希望を見つけ、目標を実現するという「自分探し」の旅を始める皆さん

に、私から送るエールとして、二つの話をします。

一つめです。世の中はどんどん変化しています。その速さたるや、年々増すばかりです。そのため、今抱いている夢や希望や目標があっても、それがいつまでもそのままでも在り続けるとは限りません。むしろ、変化していくものだと考えておいた方がいいでしょう。

しかし、変化していく時に、易きに流れないこと。行き詰まったり、辛くなったりすると、心はつい逃げたくなります。楽を求めたくなります。時にはそれもいいでしょう。限られた時間の高校生活を、辛いだけで終わらせてはいけません。

とは言え、楽をしてばかりいると、楽であることに慣れてしまいます。そしてある時、気がつくとき自分が入学時に夢見ていた未来とは、かけ離れた現実と直面することになりかねません。そんなことにならないよう、自分の夢や希望を少しずつ具体化させながら、易きに流れないよう、充実した高校生活を送りましょう。

二つめです。世の中には自分の思い通りにならないことが多いものです。辛いことや悲しいことも、たくさんあるでしょう。でも、それらは一つ一つ、皆さんを成長させる糧になるものです。そうした試練を乗り越えることで、皆さんは間違いなく成長できるのです。

でも、一人で乗り越えるのが難しい時に、助けを求めることは恥ずかしいことではありません。辛い時には「辛い」と言いましょう。悲しい時には「悲しい」と言いましょう。家族にでもいい、友達にでもいい、先生にでもスクールカウンセラーにでもいい、一人で抱え込まないで、暗い思いが積み重なって、心と体が押しつぶされる前に、誰かに「辛い」「悲しい」と言いましょう。必要な時には、我慢しないで「助けて」と言いましょう。

そして、逆にもしあなたが誰かに「辛い」「悲しい」「助けて」と言われたなら、真剣に受け止めてあげてください。そして、そのことを信頼できる大人に相談しようとしてアドバイスしてあげてください。大人に相談することで必ず良い方向に向かいます。大人には、あなた方より多くの経験と知恵があります。迷わずにそれを頼りましょう。

保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。

高校時代は、お子様が大人になっていく上で、これまで以上に多くの知識を身に付け、経験を重ね、自ら考え自ら行動して、様々な課題に取り組み、これを解決していく姿勢と技量を養っていく鍛錬の時です。私たち教職員一同、我が子を育てる思いで、愛情を込め、時に厳しさを持って、お子様の成長に力を尽くしてまいります。何卒、皆様の深い御理解と、温かい御協力をお願い申し上げます。

御来賓の皆様には、御多用のところ御臨席いただき、篤く御礼申し上げます。とりわけ地元自治会の皆様には、日ごろ本校生徒を地域で温かく見守っていただき、ありがとうございます。また、ロータリークラブの皆様には、本校国際交流の充実にご支援をいただき、感謝申し上げます。教育委員会をはじめとする御来賓の皆様には、今後とも本校の教育活動に対し、これまでと変わらぬお力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんの今後の成長と、それぞれの未来への飛躍を期待して、式辞といたします。